



京都府スーパーサポートセンターSSCラボにおいて、第9回公開講座が行われました。

日時 10月15日(土) 13:30~16:30
テーマ きこえにくい子どもたちのことばの理解、表現力
講師 大阪市立北中道小学校 難聴学級教諭 足立 貢 氏

第9回公開講座は、大阪市立北中道小学校難聴学級教諭、足立貢先生をお招きして、「きこえにくい子どもたちのことばの理解、表現力」と題して保護者を対象とした研修会を開催いたしました。

昨年の研修会で保護者から挙げて頂いた、「子どもたちの読書や作文についての悩み」・「家庭で取り組める事」等についての話題を繋ぎ、本年度の公開講座では難聴学級での経験豊富な足立先生より、難聴学級での指導や取組から、ことばの理解や読解力、文章表現力を高める指導実践、自己認識を深める取組について御講義して頂きました。

まず、足立先生の難聴学級での指導や支援を進めるための言葉の力や障害の理解についての実態把握の内容や方法について学びました。客観的なテスト等を用いた定期的・計画的な実態把握に基づく支援や配慮、



難聴学級に在籍するきこえにくい子ども同士が自分たちの意見交流・情報交換をすることの大切さを話されました。言葉の学習では、表現力を高めるために細やかな文章・作文の指導に取組まれており、「1つのことを詳しく書く」「題名を工夫する」「学習した表現を使う」等、表現を向上させるためのポイントや注意点を児童及び保護者と共有されていました。子どもたちは、書いて終りではなく、指導者からの表現の追加・修正を通じて、「自分の知らない表現」「大人の言い回し」に触れる機会と捉え、更に指導者から自分の表現を「称賛」されることで言葉を表現する楽しさを感じることを大切にされておられました。

言語力・学力の底上げと同様に、きこえにくいことや補聴機器等の「自分自身」を知り、他者に伝え、情報を確実に得ようとする意識や態度を育む指導の重要性、将来の目標から現在の自己認識を深めるアプローチを知ることができました。また、それぞれの指導や活動の御説明の中で、足立先生御自身が使われている教材や書籍等もたくさん御紹介くださいました。

言語力や自己認識の向上に向けて、丁寧に児童に関わる足立先生の貴重な指導実践例を数多く見せて頂き、御参加頂いた保護者の方々が、明日からの子育てに生かせる講座となりました。

<参加者アンケートより>

○感想（一部抜粋）

- ・ 質問したい、悩んでいた事を今日の講義で全て答えて頂きました。ありがとうございました。学習言語を学んでいくことの大切さを知りました。
- ・ 今日のお話は聞こえにくい子だけでなく、他の子どもにとっても大切だなあと感じました。語い力、学力が低くないことで、困り感が非常に伝わりにくいんだらうなあと改めて感じました。本当に必要なことのために労力を残しておくための配慮という視点が大事だなと感じました。
- ・ 参加させてもらえてよかったです。本を読むのが好きな子とあまり好きでない子がいるので、紹介してもらった市販本を買って家にまずおいてみようと思いました。自己認識のプリントも子どもたちと確認して深めていけたらと思いました。